

Information

米国内科学会(ACP)日本支部 2014 年年次総会のお知らせ

米国内科学会(American College of Physicians : ACP)は、米国内科専門医会(ACP)と、米国内科学会(ASIM)が1998年に合併して誕生しました。現在、世界80カ国に13万人の会員を有する国際的な内科学会です。学会員の内科診療技術を最高水準に維持し、患者に高い質の医療を提供することや、医療の質を高めるための研究を推進することなどを使命としています。“*Annals of Internal Medicine*”を学会公式雑誌とし、年次学術総会、生涯教育(MKSAP)、医療政策提言などさまざまな活動を行っています。ACP日本支部は、2003年にアメリカ大陸以外では初めて設立が許された支部で(初代支部長：黒川清)、現在会員数が1,000名を超え、医学生や研修医など若手会員が20%を占めるまでになっています。日本内科学会の総合内科専門医を有する内科医はACP正会員に、ACP正会員のうち要件を満たす者はFellow(FACP)の称号を申請できます。設立以来、毎年総会・講演会などの活動を行ってきました(現支部長：小林祥泰)。

本年も年次総会を開催します。“Emerging health-care needs and future role of Internal Medicine's”を基本テーマとし、臨床能力向上のための教育セッションを多数提供する予定です。ACP会員であるなしに関わらず、どなたでもご参加可能です。

日時●2014年5月31日(土)、6月1日(日)

会場●京都大学百周年時計台記念館

(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower/>)

プログラム●

- Plenary Session : 「How can Internal Medicine be committed to primary care? (総合診療に、内科はどうコミットするか?)」 Molly Cooke (ACP 会長, California 大学 San Francisco 校内科学教授), 丸山泉 (日本プライマリ・ケア連合学会理事長), 他
 - 学会企画 : 「Grand design for Internal Medicine's future in a hyper-geriatric Society (超高齢社会における内科の未来)」 柴垣有吾 (聖マリアンナ医科大学), 他
 - 教育セッション (Grand Round, Workshop, Interest Group, Luncheon seminar) : 片岡裕貴, 川島篤志, 岸田直樹, 清田雅智, 栗田宜明, 香坂俊, 小林祥泰, 柴垣有吾, 志水英明, 須藤博, 徳田安春, 野口善令, 萩野昇, 林寛之, 福原俊一, 山本舜悟, 他
 - ACP 会員によるセッション (公募)
 - Meet the expert : 清田雅智, 徳田安春, 福原俊一, 他
 - 一般演題 (ポスター, 英語) : 2014 年 4 月 15 日締め切り。優秀演題候補は口頭発表, 優秀賞を選出, 表彰 (学生の部, 若手医師の部, シニア内科医の部)
- 事前登録制●**参加費 6,000 円 (ACP 会員, Associate 会員), 10,000 円 (ACP 非会員), 医学生会員無料 (非会員は 1,000 円), 初期研修医 3,000 円。
- 事前登録期間●**2014 年 3 月 1 日 (予定) ~ 5 月 9 日 (予定) まで。Web 事前登録のみ。
- 申し込み●**<http://www.acp2014.org>
- 問合せ先●**ACPJC2014 年総会・講演会事務局
E-mail : acpjc2014@cscenter.co.jp
- 総会会長●**福原俊一 (京都大学, 福島医科大学)